

2. 委託事業計画概要

1. 事業委託期間 委託を受けた日～平成 27 年 3 月 4 日

2. 委託事業のテーマ

避難所としての防災機能の強化

(大学による教職員・学生・近隣住民と協働した実践型避難所運営研修会の実施)

3. 事業の実施体制

実施構成員

大学教職員 20 名 徳島市危機管理課 2 名 近隣自主防災組織等 15 名

研修会参加者構成員(のべ 250 名)

①蔵本キャンパス体育館 大学教職員 20 名 地域住民 30 名 大学生 50 名

②常三島キャンパス体育館・共通講義棟 大学教職員 20 名 地域住民 30 名 大学生 50 名

③新蔵キャンパス日亜会館 大学教職員 20 名 地域住民 30 名

4. 事業の内容

(1) 事業推進の方法及び内容等

本学の避難住民対策班を中心とし、行政(徳島市)、近隣住民(自主防災組織)の代表者と共に実施委員会を組織し、本委託事業を推進する。

(2) 事業計画

① 先進事例調査

1) 工学院大学にて実施している住民参加型避難訓練の先進事例ヒアリング調査、意見交換を実施する。

2) 早稲田商店会の地域住民との防災への取り組みについての先進事例を調査し、意見交換を実施する。

② 実施委員会

1) 実施方針、方法等検討のための委員会開催

2) 研修会実施についての体制や実施方法等検討のための委員会開催

3) 実施後のフィードバック及び報告書作成のための委員会開催

③ 点検方針や対策方針の策定

本学がこれまで取りまとめてきた災害時の対応が、本事業による実践型避難所運営研修会を実施することにより本当に機能するかをチェックし、その改善点について検討するとともに、各キャンパス特有の問題点や課題も合わせて抽出し、避難所としての防災機能強化につなげていく。

(3)実施日程(予定)

実施時期	計 画 事 項	摘 要
委嘱決定 6月	情報収集、資料収集 実施委員会(第1回)開催 研修会内容検討	
7月	工学院大学先進事例調査1 早稲田商店会先進事例調査2	粕淵義郎、湯浅恭史 粕淵義郎、湯浅恭史
8月	研修会内容検討 実施委員会(第2回)開催	
9月	避難所運営研修会(常三島C)実施 避難所運営研修会(新蔵C)実施 避難所運営研修会(蔵本C)実施	
10月	反省会 実施委員会(第3回)開催	講師:中野 晋 講師:湯浅恭史 講師:田村隆雄
11月	報告書作成	
12月	報告書提出	提出部数1,300部 発送先予定は別紙
H27年 1月~2月	成果発表会	奈良 2名

5. 報告書送付先 文部科学省 10部 徳島市 50部
地域自主防災組織 1,000部 徳島大学 200部
徳島県 40部

実施委員会出席者名簿(計7名)

氏 名	所属及び役職
中野 晋	徳島大学環境防災研究センター 副所長
田村隆雄	徳島大学環境防災研究センター 准教授
湯浅恭史	徳島大学環境防災研究センター 助教
米沢伸治	徳島市危機管理監危機管理課係長
金山利勝	日本防災士会会員
藤本芳樹	徳島大学総務部企画評価課課長(避難住民対策班長)
粕淵義郎	徳島大学総務部総務課災害対策アドバイザー